

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1187号	氏名	町田郁子
論文審査担当者		主査教授	由井克之
		副査教授	江口勝美
		副査教授	大園恵幸
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価 本研究は、「即時型喘息反応の主要なメディエーターのひとつである cysteinyl leukotrienes (cysLTs) が、樹状細胞によるアレルギー性気道炎症の誘導に関与する」との仮説を動物実験により検証したものであり、目的は明確かつ妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 マウス骨髄由来樹状細胞を用い、PCR法とELISA法でcysLTs及びサイトカイン産生能を検討した。ダニ抗原パルス樹状細胞の経鼻投与による感作モデルを用い、樹状細胞をcysLTs 或いはロイコトリエン受容体拮抗剤で処理し、その気道炎症の程度に対する影響を、肺組織像、肺胞気管支洗浄液中細胞分画、サイトカイン測定により評価しており、高く評価できる。</p> <p>3. 解析・考察の評価 ダニ抗原による樹状細胞の活性化において、cysLTs は、Th2 反応亢進によるアレルギー性気道炎症増悪効果を示した。一方、ロイコトリエン受容体拮抗剤処理樹状細胞では気道炎症が著名に抑制されることから、内因性cysLTs のアレルギー性気道炎症への関与と、ロイコトリエン受容体拮抗剤の樹状細胞に対する直接作用を明確に示し、高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文はアレルギー性気道炎症発症機序の解明とその制御法開発に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。